

防犯ボランティア団体に対するアンケート 報告書

2024年6月
(令和6年6月)

豊川市

目次

1	調査概要	1
2	調査結果	2
	問 1 団体名	2
	問 2 構成員の人数、年齢.....	2
	問 3 活動年数.....	3
	問 4 どのような活動をしているか	4
	問 5 (問 4 で 1～3 を回答した団体)それぞれの活動時間.....	5
	問 6 昨年 1 年間における活動頻度	5
	問 7 活動費はどのように確保しているか	6
	問 8 昨年 1 年間の活動総額は概ねいくらか	6
	問 9 新隊員の募集のために取り組んでいること.....	7
	問 10 豊川市は「犯罪のない、安全で安心して暮らすことができるまち」だと思うか.....	8
	問 11 貴団体の活動地域の治安についてどう感じているか	8
	問 12 (問 11 で 1 または 2 と回答された団体)よくなったと感じる理由	9
	問 13 (問 11 で 3 または 4 と回答された団体)悪くなったと感じる理由	10
	問 14 貴団体の活動地域において犯罪が起こるかもしれないと不安を感じる度合い.....	11
	問 15 貴団体の活動地域において犯罪が起こるかもしれないと不安を感じる場所はどこか.....	12
	問 16 地域住民が犯罪被害にあわないためにはどのような防犯対策が必要だと思うか.....	13
	問 17 犯罪情報や活動に必要な情報はどのようにして収集しているか	14
	問 18 貴団体が活動を継続するうえで抱えている問題点や課題	15
	問 19 貴団体やほかの防犯ボランティア団体が活動していく上で行政や警察が行うどのような支援が必要か	16
	問 20 市が街灯に防犯カメラを設置したり連区、町内会等が市の補助により道路、公園等に防犯カメラを設置しているがそのことを知っているか	17
	問 21 市、連区、町内会等が設置している防犯カメラについて考えが近いもの	17
	問 22 貴団体の活動地域や豊川市が犯罪の無い安全で安心して暮らせる地域であるために必要だと思う取り組み	18
	問 23 安全で安心して暮らすことができる豊川市の実現に向けて市や警察に実施してほしいことや防犯ボランティア活動についてご意見・ご要望	19
3	調査票	21

1 調査概要

図表 1-1 調査概要

郵送アンケート	
目的	<ul style="list-style-type: none"> ● 豊川市では、令和6年度に防犯対策・犯罪被害者等の支援・再犯防止に関して、市等が実施する施策を総合的かつ計画的にする推進するための計画を策定予定。 ● 本調査は、当該計画を策定する際の基礎資料とすることを目的に実施。
方法	郵送配布 郵送・直接持参・メールにて回収
対象	市内ボランティア34団体 ※代表者または事務局に送付
調査期間	2024年2月21日(水)～2024年3月15日(金)
回収数	34件 100%

※回答結果について、選択形式の設問は百分率で集計しており、少数第1位を四捨五入している。

団体名一覧(50音順)

赤坂小学校子ども見守りボランティア	三蔵子校区防犯ボランティア (三防会)
赤坂台防犯パトロール隊	下長山防犯会
安全なまちづくり千両校区	白鳥町防犯パトロール隊
一西防犯パトロール隊	代田防犯パトロール地域見守り隊
一東安全なまちづくり防犯隊	中小校区防犯パトロール隊
一南みまもりたい	天王防犯会
牛久保防犯会	東部小校区子ども見守りたい
上宿見回りパトロール隊	豊川小学校区防犯ネットワーク
金屋南連区防犯パトロール隊	長沢町防犯パトロール隊
金屋連区防犯パトロール会	萩町防犯パトロール隊
久保町防犯・交通ボランティア	八南安全パトロール
国府市民館安全パトロール隊	平尾校区安全パトロール隊
小坂井青色防犯パトロール隊	防犯御油の会
小坂井東小見守り隊	御津地区青色防犯パトロール隊
桜木小学校区防犯パトロールボランティア隊	御津南部小 子ども見守り隊
桜町連区安全パトロール隊	御津北部小 子ども見守りたい
三蔵子校区防犯委員会パトロール隊	豊小学校を育てる会

(全 34 団体)

2 調査結果

問1 団体名

34 団体に回答いただきました。

問2 構成員の人数、年齢

人数

31団体に回答いただきました。人数は最大で205人、最小で9人、平均65人となっている。

図表 2-1 構成員の人数

	人数平均	最大	最小
構成員の人数	64	205	9

(31 団体)

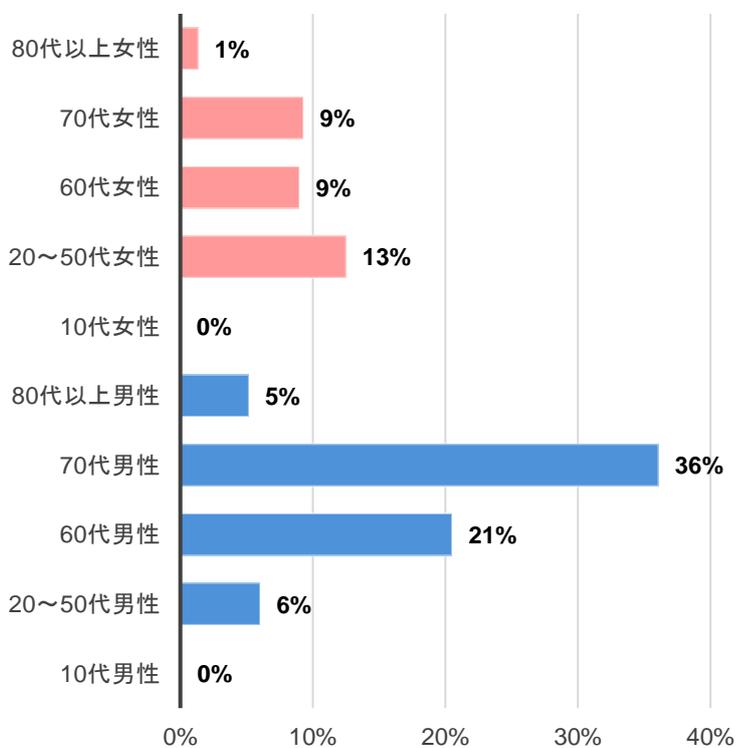
構成員の人数	団体数
～20 人	3
21～60 人	16
61～100 人	6
101 人～	6

(31 団体)

年齢

「70代男性」の割合が最も高く 36 パーセントで、次いで「60代男性(21%)」、「20～50代女性(13%)」となっている。

図表 2-2 年齢



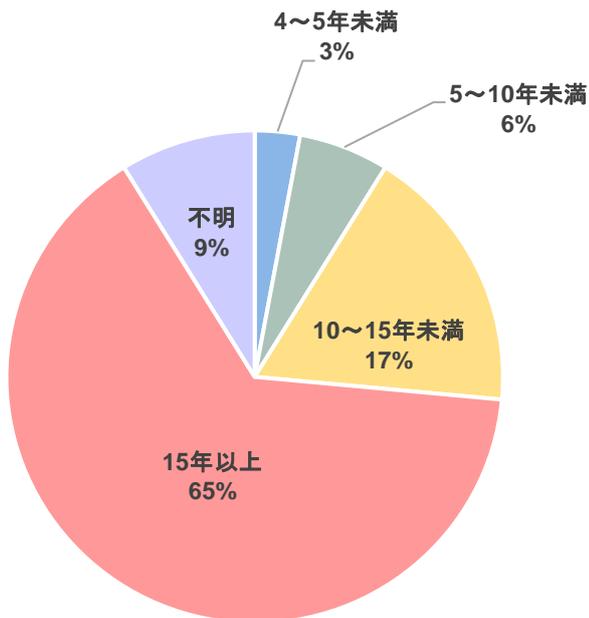
		人数	(%)
女性	80代以上	27	1%
	70代	185	9%
	60代	179	9%
	20～50代	249	13%
	10代	0	0%
	小計	640	
男性	80代以上	103	5%
	70代	718	36%
	60代	408	21%
	20～50代	120	6%
	10代	1	0%
	小計	1350	
合 計		1990	100%

問3 活動年数 (○は、1つ)

「15年以上」の団体が最も多く 22 団体(65%)で、次いで「10～15年未満 6 団体(17%)」、「5～10年未満 2 団体(6%)」となっている。

図表 3-1 活動年数

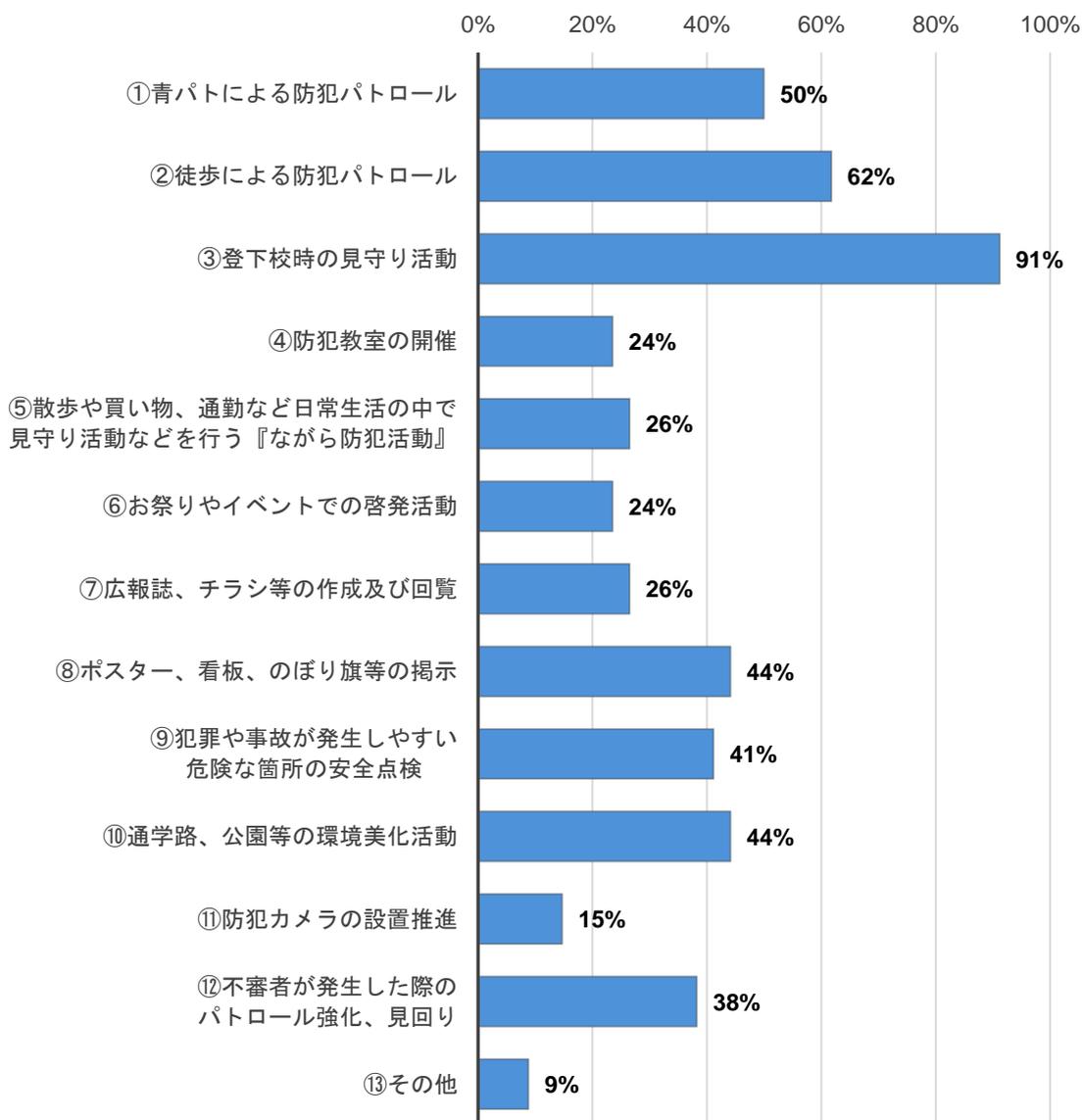
合計	4～5年未満	5～10年未満	10～15年未満	15年以上	不明
34 団体	1	2	6	22	3
	3%	6%	17%	65%	9%



問4 どのような活動をしているか（○は、いくつでも）

「登下校時の見守り活動」の割合が最も高く 91%で、次いで「徒歩による防犯パトロール(62%)」「青色回転灯付きの車両(青パト)による防犯パトロール(50%)」となっている。

図表 4-1 どのような活動をしているか



その他の内容 ()内は件数

- パトネットの不審者情報による即時の見回り(1)
- 町内全域の散乱ごみ回収活動(1)
- 研修会等に参加(1)

問 5 (問 4 で 1~3 を回答した団体) それぞれの活動時間

図表 5-1 活動時間の平均

	青パト		徒歩		登下校時	
	開始	終了	開始	終了	開始	終了
午前平均	8:00	9:00	7:30	8:11	7:30	8:11
昼間平均	14:47	15:57	15:15	16:45	14:58	15:49
夜間平均	19:21	20:32	19:02	19:58	—	—

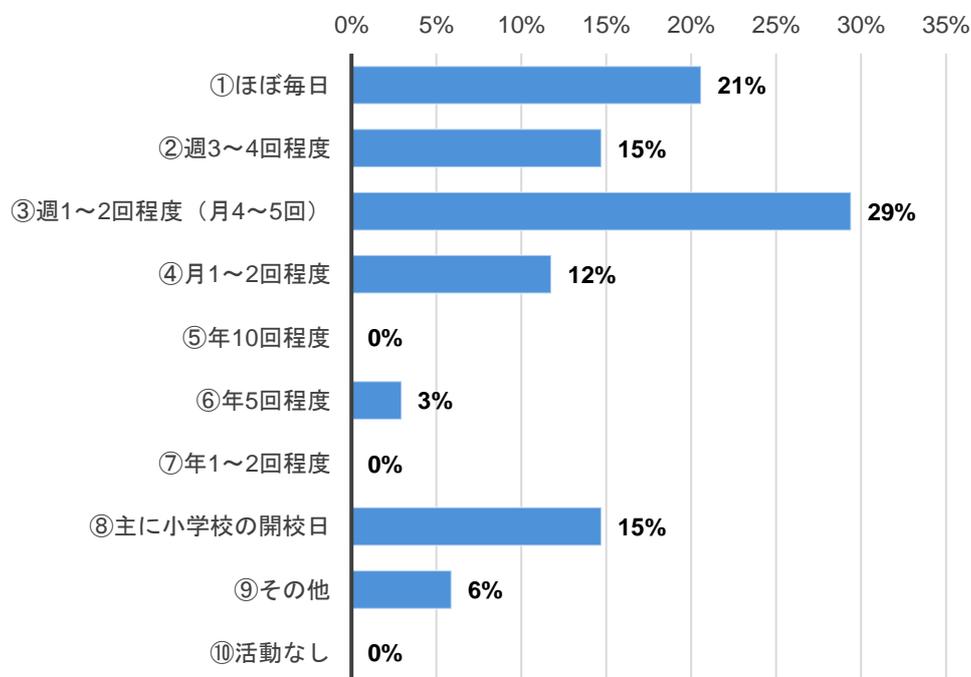
図表 5-2 活動団体の数

	青パト	徒歩	登下校時
午前	2	5	20
昼間	6	6	26
夜間	8	9	—
決まっていない	2	2	2

問 6 昨年 1 年間における活動頻度 (○は、1 つ)

「週 1~2 回程度(月 4~5 回)」の割合が最も高く 29%で、次いで「ほぼ毎日(21%)」「週 3~4 回程度(15%)」「主に小学校の開校日(15%)」となっている。

図表 6-1 昨年 1 年間における活動頻度



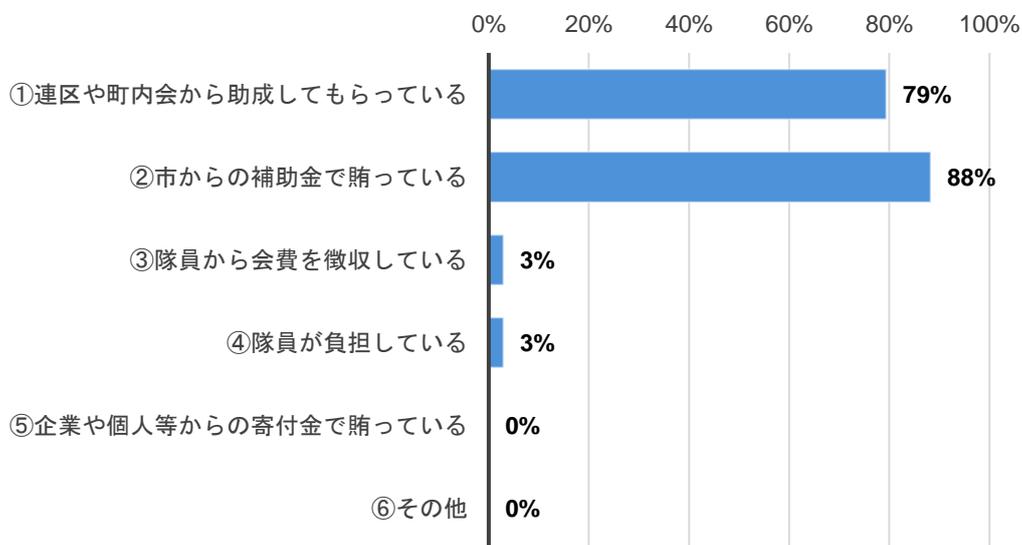
その他の内容 ()内は件数

- 青パトは月 2 回、登校時見守りは開校日(1)
- 毎日の人もいれば、年 1 回の人もある(1)
- 7,8 月、12 月は週 2 回(1)

問7 活動費はどのように確保しているか（○は、いくつでも）

「市からの補助金で賄っている」の団体が最も多く 30 団体(88%)で、次いで「連区や町内会から助成してもらっている 27 団体(79%)」となっている。

図表 7-1 お住まいの学区内の治安



問8 昨年1年間の活動総額は概ねいくらか

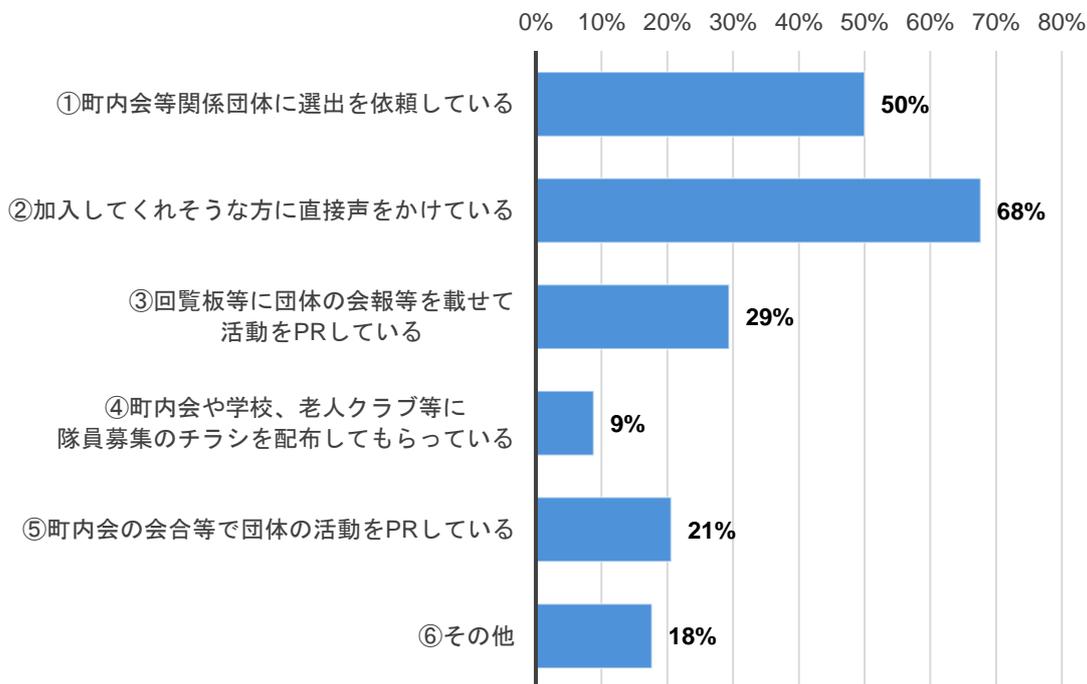
図表 8-1 昨年1年間の活動総額

平均	最大	最小
¥91,080	¥300,000	¥10,000

問9 新隊員の募集のために取り組んでいること（○は、いくつでも）

「加入してくれそうな方に直接声をかけている」が最も多く 68%で、次いで「町内会等関係団体に選出を依頼している(50%)」となっている。

図表 9-1 新隊員の募集のために取り組んでいること



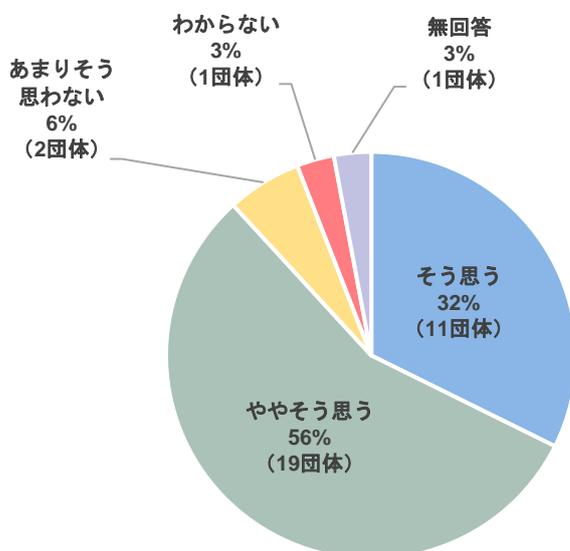
その他の内容（）内は件数

- 連区にお願い(1)
- 町内役員からのスライド選出(1)
- 学校へ通う児童の祖父母に募集のチラシを配布(学校を通じて)(1)
- 小学校のお便りで募集している(1)
- 広報誌を発行している。入会を呼び掛けている。(1)

問 10 豊川市は「犯罪のない、安全で安心して暮らすことができるまち」だと思うか
 (○は、1つ)

「ややそう思う」の割合が最も高く 56%となっている。ついで「そう思う(32%)」となっている。

図表 10-1 豊川市は「犯罪のない、安全で安心して暮らすことができるまち」だと思うか

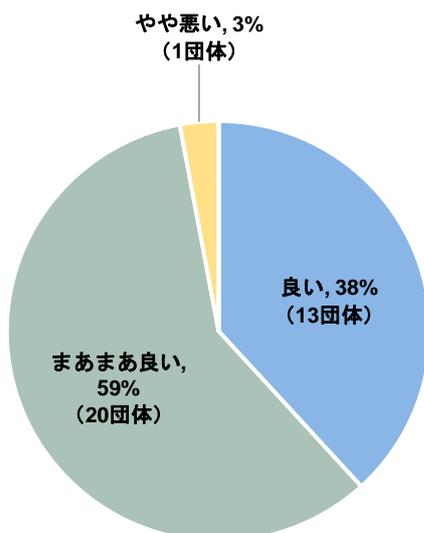


	団体数
そう思う	11
ややそう思う	19
あまりそう思わない	2
そう思わない	0
わからない	1
無回答	1
合計	34

問 11 貴団体の活動地域の治安についてどう感じているか (○は、1つ)

「まあまあ良い」の割合が最も高く 59%となっている。次いで「良い(38%)」となっている。

図表 11-1 貴団体の活動地域の治安についてどう感じているか

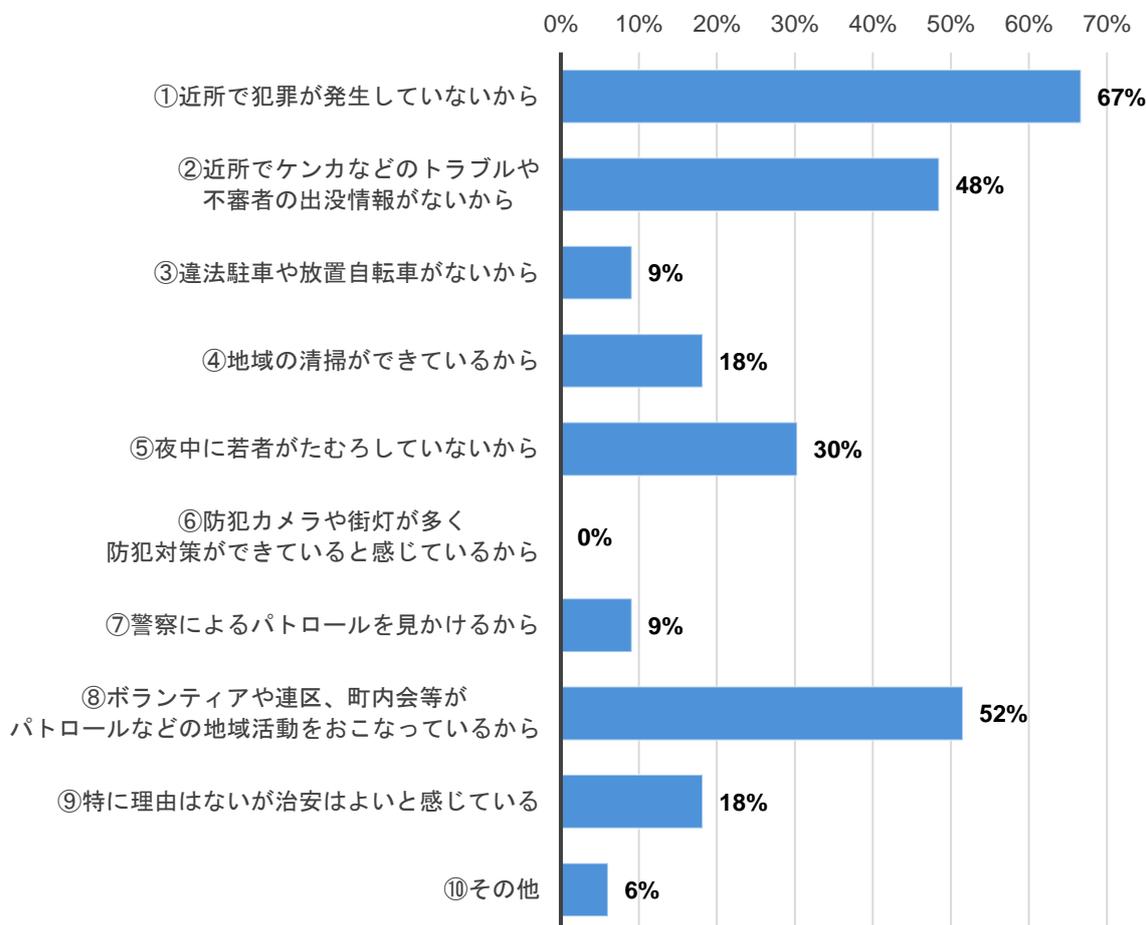


	団体数
良い	13
まあまあ良い	20
やや悪い	1
悪い	0
わからない	0
無回答	0
合計	34

問 12 (問 11 で 1 または 2 と回答された団体) よくなったと感じる理由 (○は、3 つ以内)

「近所で犯罪が発生していないから」の割合が最も高く 67%で、次いで「ボランティアや連区、町内会等がパトロールなどの地域活動をおこなっているから(52%)」「近所でケンカなどのトラブルや不審者の出没情報がないから(48%)」となっている。

図表 12-1 よくなったと感じる理由



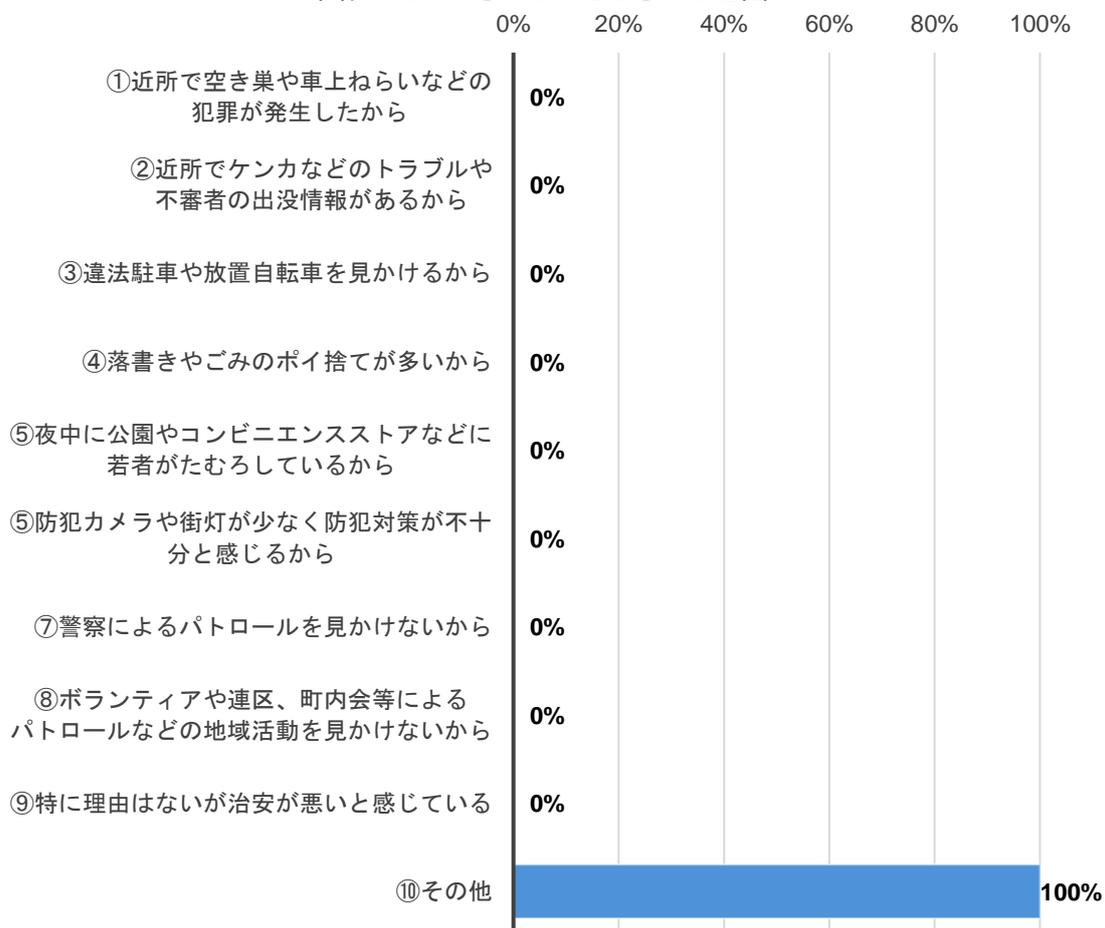
その他の内容 ()内は件数

- 治安がよい理由は様々あって、特に何かは挙げられない(1)
- 上記①, ②などの情報を知るルートがないのでわからない。上記③, ⑤, ⑥, ⑦など良くわからない。情報が無い。(1)

問 13 (問 11 で 3 または 4 と回答された団体) 悪くなったと感じる理由 (○は、3つ以内)

1団体に回答をいただきました。

図表 13-1 悪くなったと感じる理由



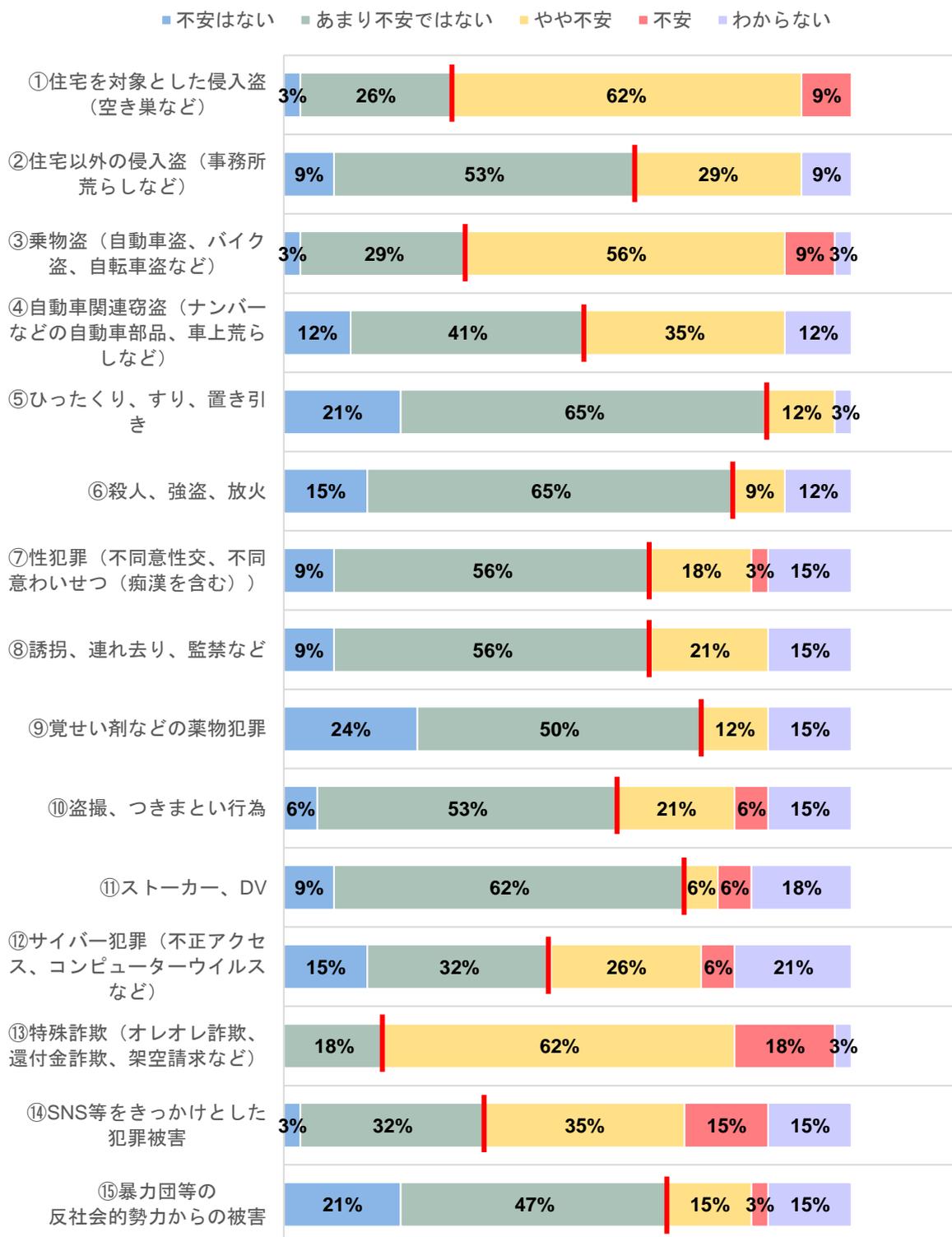
その他の内容 ()内は件数

- 警察署の犯罪発生状況を見て(1)

問 14 貴団体の活動地域において犯罪が起こるかもしれないと不安を感じる度合いについて、それぞれ該当する番号に○（○は、1つ）

「不安」と「やや不安」の割合の合計に着目すると、「⑬特殊詐欺(オレオレ詐欺、還付金詐欺、架空請求など)」における割合が最も高く 80%となっている。次いで、「①住宅を対象とした侵入盗(空き巣など)(71%)」となっている。

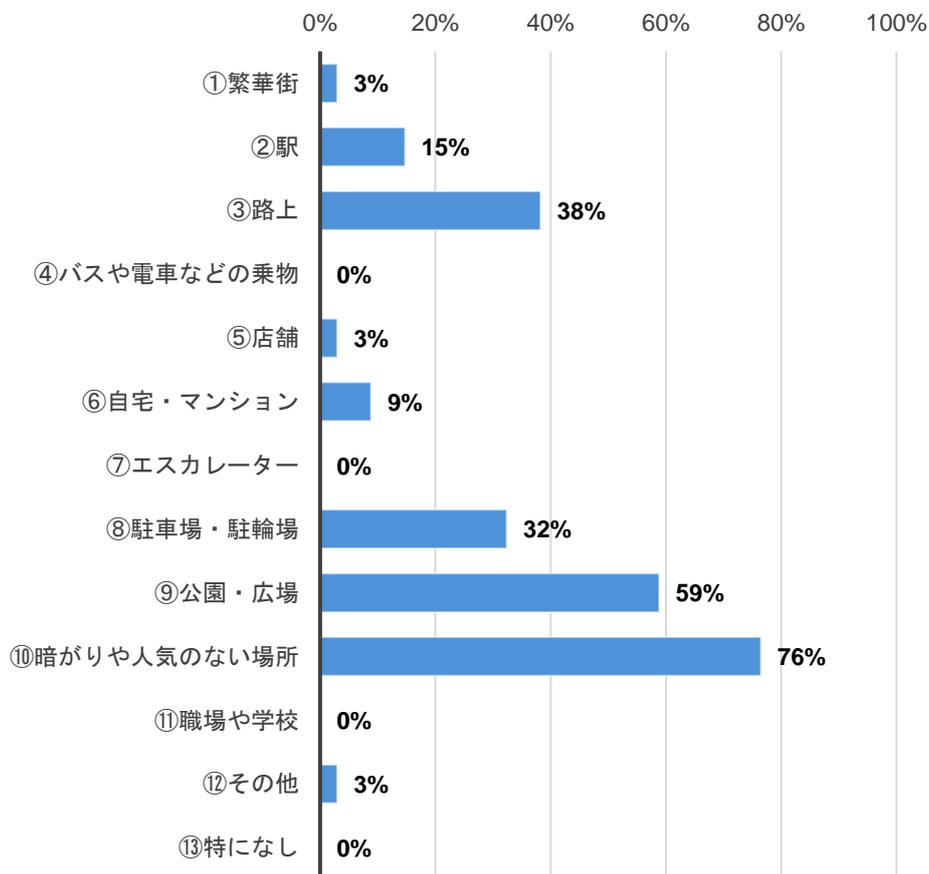
図表 14-1 犯罪が起こるかもしれないと不安を感じる度合い



問 15 貴団体の活動地域において犯罪が起こるかもしれないと不安を感じる場所はどこか（○は、3つ以内）

「暗がりや人気のない場所」の割合が最も高く 76%で、次いで「公園・広場(59%)」「路上(38%)」「駐車場・駐輪場(32%)」となっている。

図表 15-1 犯罪が起こるかもしれないと不安を感じる場所はどこか



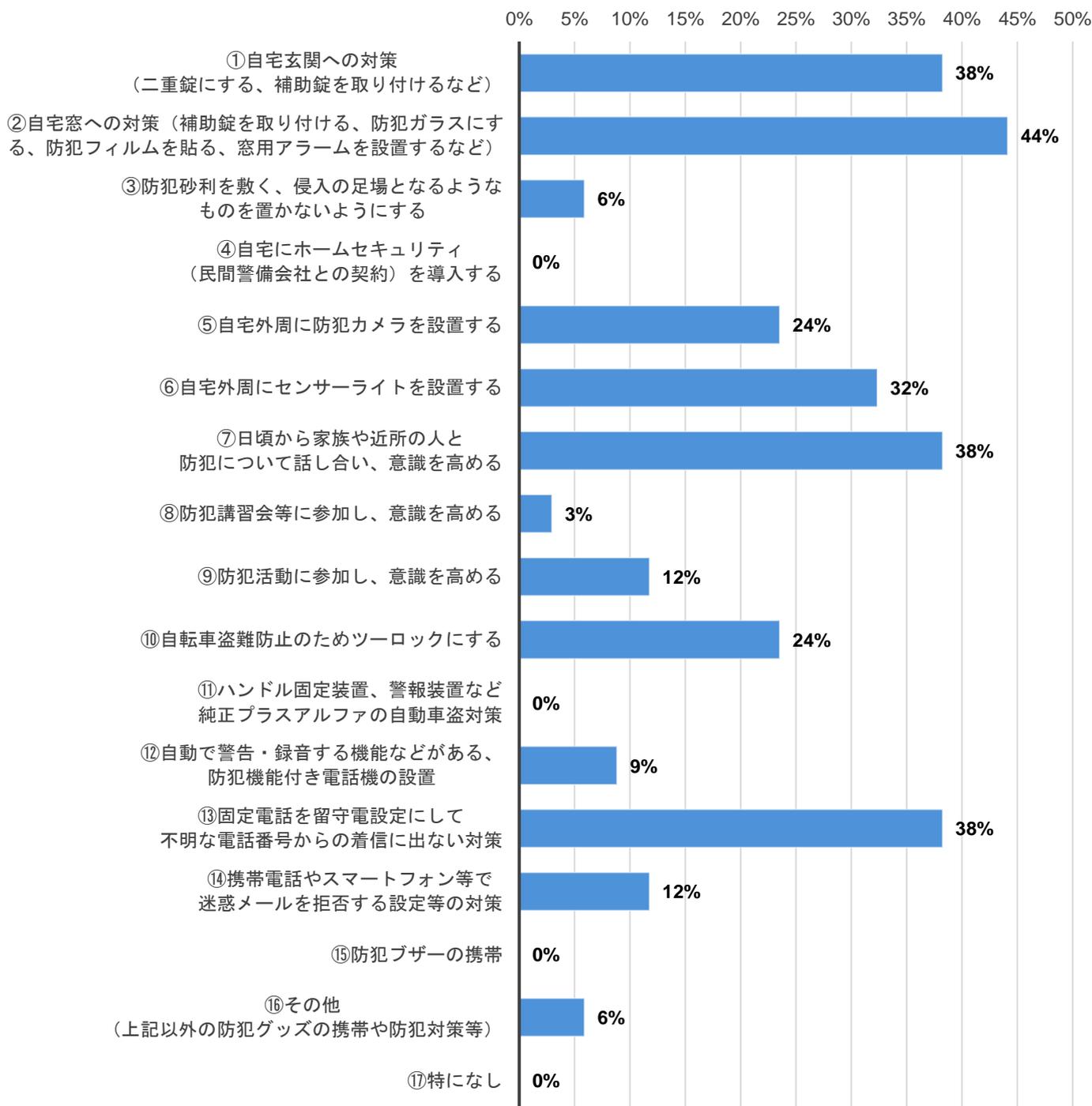
その他の内容 ()内は件数

- 東名高速の側道とガード下(1)

問 16 地域住民が犯罪被害にあわないためにはどのような防犯対策が必要だと思うか
(○は、3つ以内)

「自宅窓への対策」の割合が最も高く 44%で、次いで「自宅玄関への対策(38%)」「日頃から、家族や近所の人と防犯について話しあい、意識を高める(38%)」「固定電話を留守電設定にして不明な電話番号からの着信に出ない対策(38%)」となっている。

図表 16-1 域住民が犯罪被害にあわないためにはどのような防犯対策が必要だと思うか

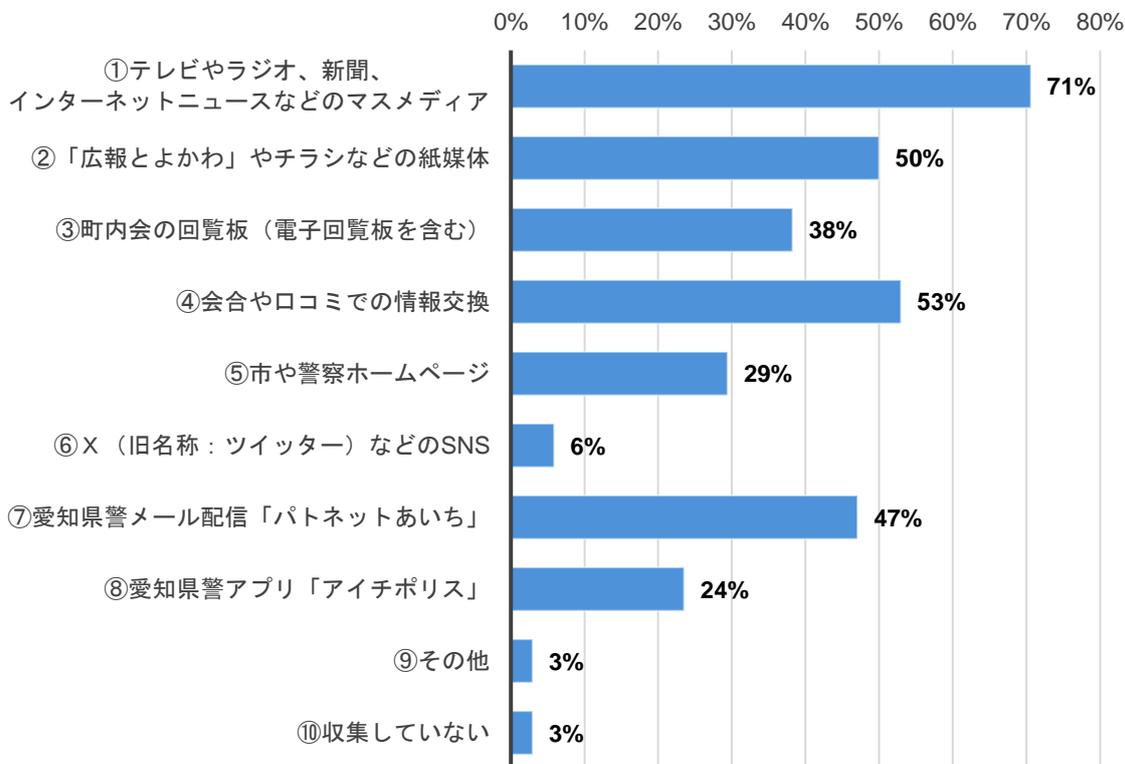


- 上記すべて該当する(1)
- 高齢者が多いので特殊詐欺を防ぐ対策が必要かもしれないが、多くの方が自分は大丈夫と考え講習会に参加しない。(1)

問 17 犯罪情報や活動に必要な情報はどのようにして収集しているか（該当する番号すべてに○）

「テレビやラジオ、新聞、インターネットニュースなどのマスメディア」の割合が最も高く71%となっている。次いで、「会合や口コミでの情報交換(53%)」、「広報とよかわ」やチラシなどの紙媒体(50%)となっている。

図表 17-1 犯罪情報や活動に必要な情報はどのようにして収集しているか



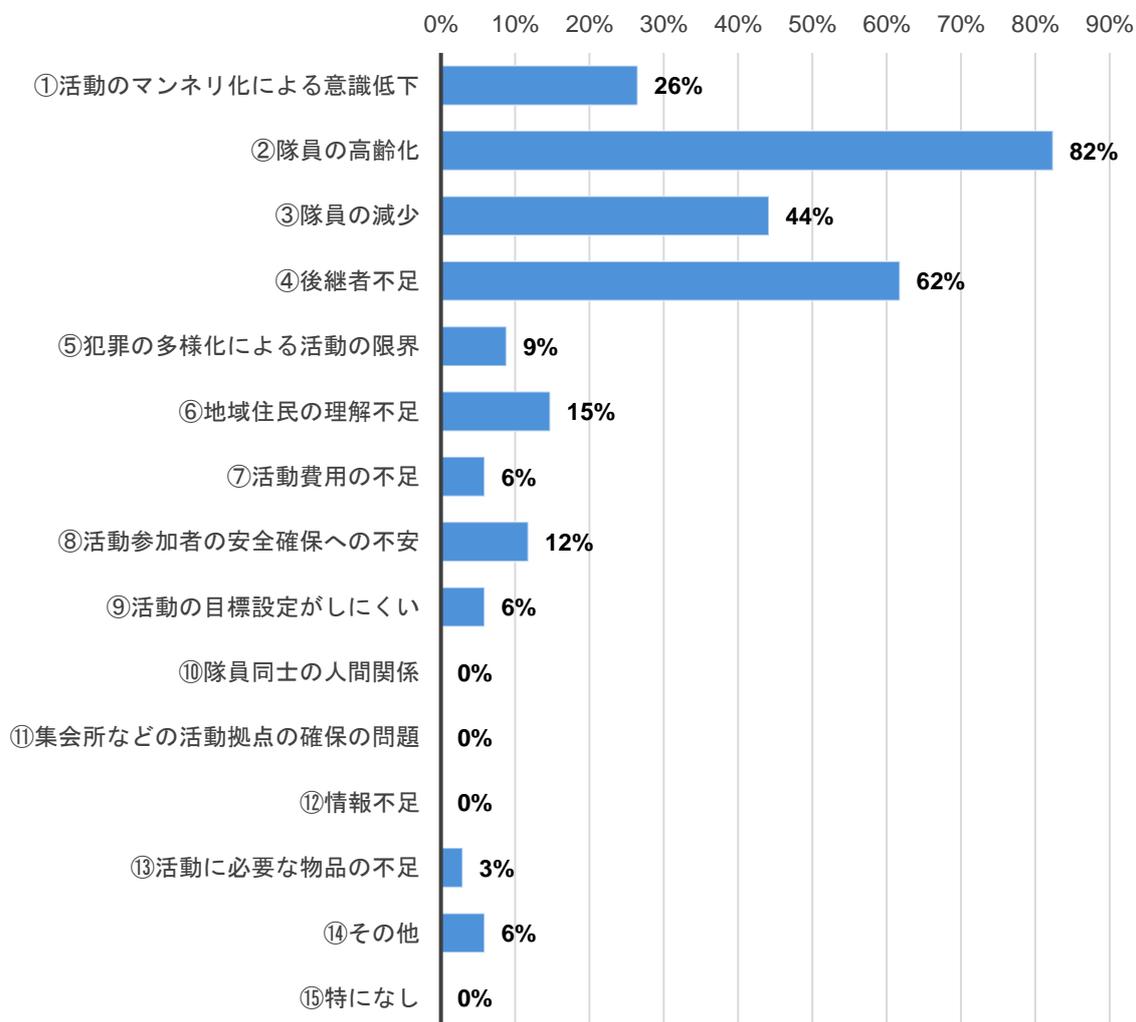
その他の内容（）内は件数

- 愛知県警「すぐメール」(1)

問 18 貴団体が活動を継続するうえで抱えている問題点や課題（○は、3つ以内）

「隊員の高齢化」の割合が最も高く 82%となっている。次いで、「後継者不足(62%)」、「隊員の減少(44%)」となっている。

図表 18-1 活動を継続するうえで抱えている問題点や課題



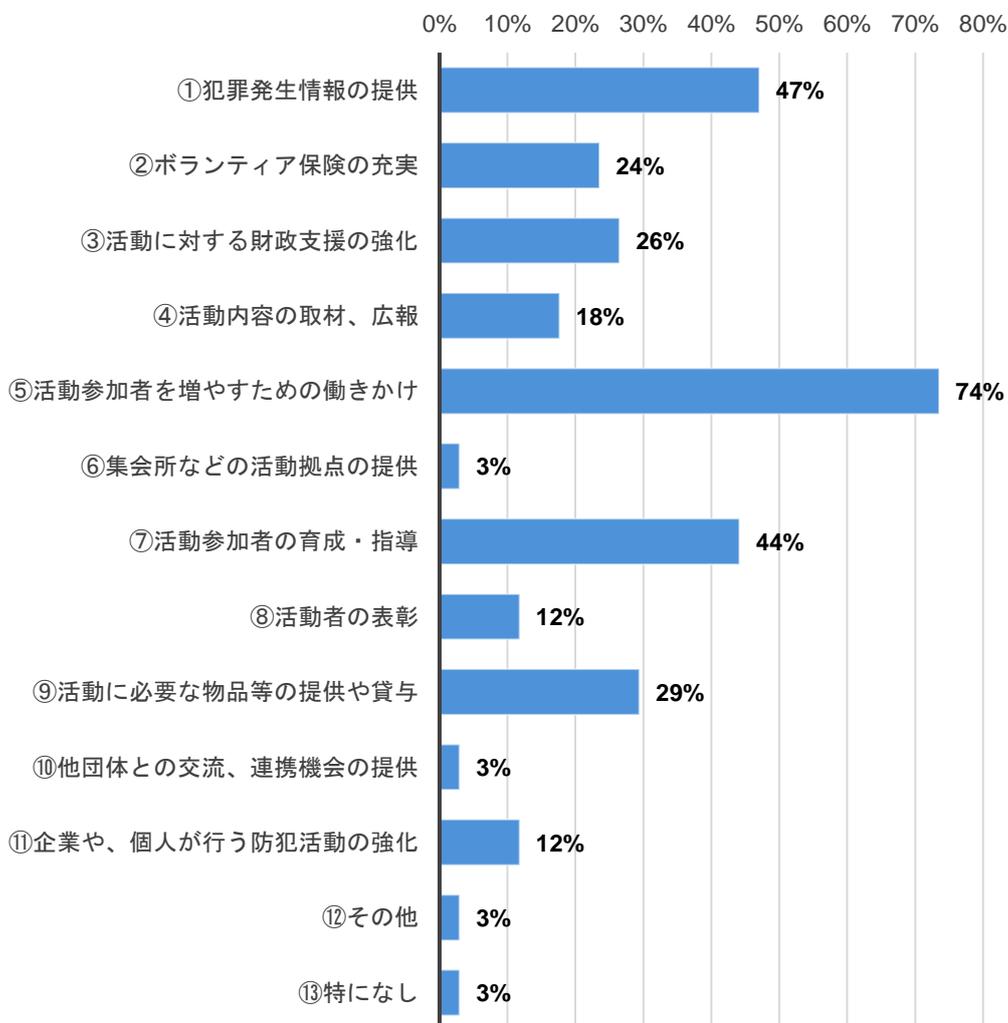
その他の内容（）内は件数

- 特にリーダー擁立の難しさ、人事(1)
- 役員のなり手がいない(1)

問 19 貴団体やほかの防犯ボランティア団体が活動していく上で行政や警察が行うどのような支援が必要か（○は、5つ以内）

「活動参加者を増やすための働きかけ」の割合が最も高く 74%となっている。次いで、「犯罪発生情報の提供(47%)」、「活動参加者の育成・指導(44%)」となっている。

図表 19-1 貴団体やほかの防犯ボランティア団体が活動していく上で行政や警察が行うどのような支援が必要か



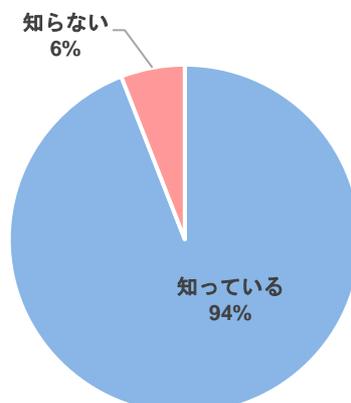
その他の内容 ()内は件数

- 市、警察が先導して防犯活動を盛り上げること(1)

問 20 市が街頭に防犯カメラを設置したり、連区、町内会等が市の補助により道路、公園等に防犯カメラを設置しているがそのことを知っているか（○は、1つ）

「知っている」の割合が 94%、「知らない」が 6%となっている。

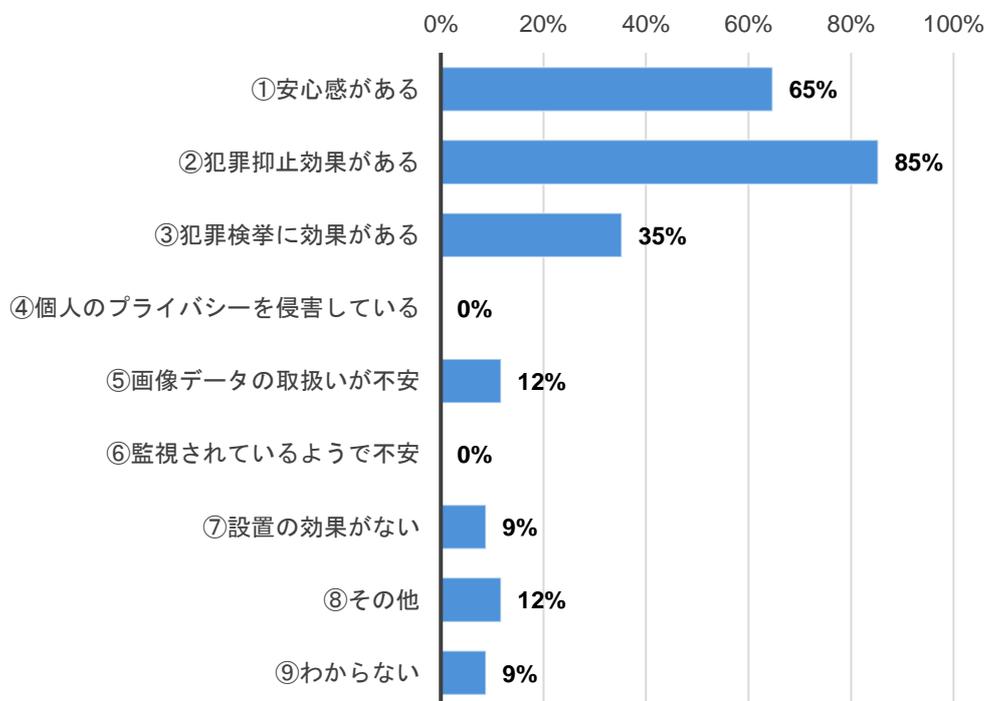
図表 19-1 防犯カメラの設置を知っているか



問 21 市、連区、町内会等が設置している防犯カメラについて考えが近いもの（○は、3つまで）

「犯罪抑止効果がある」の割合が最も高く 85%となっている。次いで、「安心感がある（65%）」「犯罪検挙に効果がある（35%）」となっている。

図表 21-1 市、連区、町内会等が設置している防犯カメラについて考えが近いもの



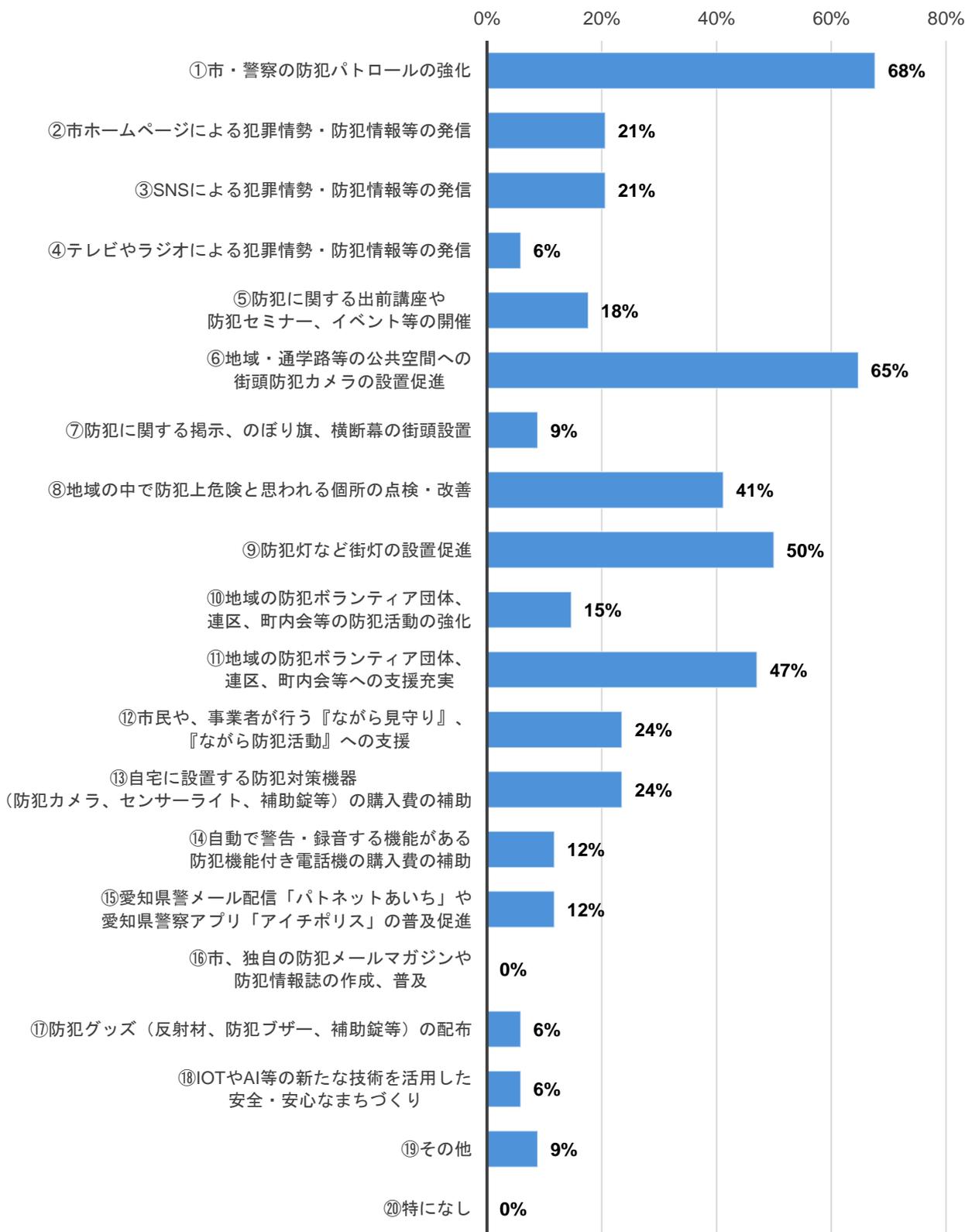
その他の内容（）内は件数

- 犯罪検挙に役立った事例等で効果をアピールしないと実感できない(1)
- 設置の位置を考える必要があると思います(1)
- ①に通じるが、市や町内が防犯に取り組んでいることを理解・意識してもらえる。(1)
- 監視されているようで不安という意見も少数だがある(1)

問 22 貴団体の活動地域や豊川市が犯罪の無い安全で安心して暮らせる地域であるために必要だと思う取り組み（〇は、5つまで）

「市・警察の防犯パトロールの強化」の割合が最も高く 68%となっている。次いで、「地域・通学路等の公共空間への街頭防犯カメラの設置促進(65%)」「防犯灯など街灯の設置促進(50%)」「地域の防犯ボランティア団体、連区、町内会等への支援充実(47%)」となっている。

図表 22-1 犯罪の無い安全で安心して暮らせる地域であるために必要だと思う取り組み



その他の内容 ()内は件数

- 市民に防犯に対する意識の向上をどう高めるか重要です(1)
- 町内の人への意識付け強化とメリットが(説明しやすい)あることが分かるように(1)
- 通学路にグリーン塗装をする。横断舗道の追加。交通事故防止の必要。カーブミラーの追加。(1)

問 23 安全で安心して暮らすことができる豊川市の実現に向けて市や警察に実施してほしいことや防犯ボランティア活動についてご意見・ご要望

民生・児童委員へ研修の内容を充実させる

近年増加している特殊詐欺等では、防犯講習会を設定するぐらいしかボランティアでできる対策がなく、市・警察が直接対応策を講じていただくほうが良いと考える。ボランティアの位置づけを今一度見直す時期に来ているのではないか。(後継者問題も含め)

小学校の先生方も忙しい事は理解してますが、時々は登下校の見守り活動に参加して欲しい。

行政を通じて市内の中学校・高校に防犯ボランティアを実施できる人を募集してもらい、希望者がいれば各地区で参加してくれると、拡がり、つながりがみえてくると思います。

私は県の職員を務めて、退職後町内会・地域の活動に参加しています。市の職員の方は在職中から退職後も地域の活動に積極的に取り組んでいただいている方がおみえになってとても感謝しています。市や警察を退職された方がさらに多く地域に協力されることをお願いします。

防犯ボランティア活動も、10年前に比べれば市内で大分定着してきたことは確かだと思いうれしく思います。小学校の下校ボランティア活動に対し、児童の親御さんがもっと自発的に参加していただきたい！ 活性化を図る一つの方策として、例えば年内活動日数によって何かボーナスチケット等を差上げるのも良いかと思いますが！？

平尾町も朝夕のラッシュ時等特にクルマが増え小学生、中学生の登下校時とか事故が心配です。通学路のグリーン塗装、横断舗道前後のカラー塗装、三差路等のカーブミラーの設置等追加希望します。

顔のわかる方がいつも通学路で安全をみまもってくださっていることは、学校も保護者もとても助かっています。高齢化していることが危惧されます。

児童登下校時に自転車登下校の中・高校生、一般の自転車等と歩道で重なり危険を感じる。校区の派出所の警察官の方が朝立って見守ってくれると極めて効果があると思う。以前には派出所の方が対応してくれた時もあった。

SNS を活用して即時性のある情報を出して頂きたい。青少年健全育成協議会もやっております。安全な街づくりと内容が似ている部分が多いと思います。青少年を廃止して安全な街づくりとすると良いと思います。

知らない人とは話さないと教育されている子どもたちに「あいさつ」を遠慮する大人もいることも事実です。不審者と思われたくないからという意見もあります。防犯蛍光ベストの着用を構成員さんには進めています。豊川市としては「豊川市ブランド」の蛍光ベストを作成して各小学校に

30 枚～50 枚ほど届けてはどうですか？たとえばイナリンマークがついたベストとか。イナリンマークがあれば子供も安心するし、着用したい大人も増えると思います。

防犯パトロール実施していますが、活動中に不審者に合う事はありません。夜中も自分は出歩く事も無いので不審者等に合う事は無いと思います。けど事件はおきています。警察等にパトロール強化をお願いします。

犯罪は人目の少ないところや夜間などに起きやすい。限度はあると思うが、警察のパトロール等を増やしてもらいたい。また、回転灯までなくてもよいが、「パトロール協力車」などのマグネットシールを貼って走る車を増やすだけでも違うと思うので、業者や事業所などの協力を得て、簡単な手続きだけで、「パトロール協力車」のシールを貼った車がそこら中で走っているようにしたら、犯罪抑止につながるのでは。

青パトに関しては、3 年に 1 回の講習会参加に無理があります。3/2 の講習会に本会から 2 名参加しましたが、昔と比べて参加人数がかなり減っているという話を聞きました。青パトの代表に管理をお願いし、青パト代表による説明等で隊員を募集する方法等を行わない限り、青パトは減少一途をたどるのは間違いないと思います。規則上、無理だとは思いますが。

多くの方に子どもの安全を見守っていただいているととてもありがたいです。横断歩道の設置や歩道の設置など、住民の方がお願いを続けても難しい場所がまだあるようです。通学路の安全を守る設備の強化を続けていただきたいと思います。

町内会の存在意義についてその大切さや役員等に積極的になることの重要性を PR してほしい。非協力的、無関心の市民が増えているように感じます。

町内の空地や道路の街路樹が生い茂り不審者が隠れ易くなっている場所がある。自治体・市の樹木管理課等へ依頼して伐採するなり、透明化をはかりたいです。

3 調査票

防犯ボランティア団体に対するアンケート調査

調査ご協力をお願い

日ごろから豊川市の安全なまちづくりの推進につきまして、ご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

本市では、防犯対策・犯罪被害者等の支援・再犯防止に関して、市等が実施する施策を総合的かつ計画的に推進するための計画を、令和6年度に策定することを予定しています。

そこで、計画策定の際の基礎資料とすることを目的として、防犯活動に参加されている皆様の治安に対する意識や安全なまちづくりに対するご意見、団体の活動状況などをお伺いするためにアンケート調査を実施することになりました。

この調査は、現在市民部人権生活安全課で把握している34の防犯ボランティア団体に、お送りしております。回答は、すべて統計的に処理され、個人的な意見や考えが外部に漏れることは、一切ありません。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解の上、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和6年2月

豊川市長 竹本 幸夫

■ご記入にあたってのお願い■

- このアンケートは、貴団体（代表者等の調査回答協力者）のお考えでご記入をお願いします。
- 回答は、質問ごとに、あてはまる番号を○で囲んでください。
(その際、「○は、1つ」「○は、いくつでも」などの指示に従って記入してください。)
- 本調査票に記入して、令和6年3月15日（金）までに同封した返信用封筒（切手不要）でご返送ください。
- ご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

豊川市 市民部 人権生活安全課 0533-89-2149（直通）長坂・菅沼

防犯ボランティア団体に対するアンケート調査 調査票

問1 貴団体名をご記入ください。

団体名 _____

問2 貴団体の構成員は何人ですか。年齢別、男女別で、概ねの人数をお答えください。改めて、構成員の皆様にご年齢をお尋ねになる必要はありません。概ねの年齢でお答えいただければ結構です。(令和6年2月1日現在)

年 齢	性 別		計
	男 性	女 性	
10 歳代			
20～50 歳代			
60 歳代			
70 歳代			
80 歳代以上			
計			

問3 貴団体の活動年数は何年ですか。(令和6年2月1日現在) (○は、1つ)

1. 1年未満	2. 1～2年未満	3. 2～3年未満
4. 3～4年未満	5. 4～5年未満	6. 5～10年未満
7. 10～15年未満	8. 15年以上	9. 不明

問4 どのような活動をしていますか。(○は、いくつでも)

- | |
|---|
| 1. 青色回転灯付きの車両（青パト）による防犯パトロール
2. 徒歩による防犯パトロール
3. 登下校時の見守り活動
4. 防犯教室の開催
5. 散歩や買い物、通勤など日常生活の中で見守り活動などを行う『ながら防犯活動』
6. お祭りやイベントでの啓発活動
7. 広報誌、チラシ等の作成及び回覧
8. ポスター、看板、のぼり旗等の掲示
9. 犯罪や事故が発生しやすい危険な箇所の安全点検
10. 通学路、公園等の環境美化活動
11. 防犯カメラの設置推進
12. 不審者が発生した際のパトロール強化、見回り
13. その他 (_____) |
|---|

問5 【問4】で、1～3を実施していると回答された団体】におたずねします。

それぞれの活動時間は、何時から何時までですか。実施しているパトロール等の概ねの活動時間をご記入ください。実施していない場合は、記載不要です。

(例 7時30分～8時 20時から21時) など

1. 青色回転灯付きの車両（青パト）による防犯パトロールの実施時間	()
2. 徒歩による防犯パトロールの実施時間	()
3. 登下校時の見守り活動の実施時間	()

問6 昨年1年間における活動頻度はどれくらいですか。(○は、1つ)

1. ほぼ毎日	2. 週3～4回程度	3. 週1～2回程度(月4～5回)
4. 月1～2回程度	5. 年10回程度	6. 年5回程度
7. 年1～2回程度	8. 主に小学校の開校日	9. その他
10. 活動なし	()	

問7 活動費はどのように確保されていますか。(○は、いくつでも)

1. 連区や町内会から助成してもらっている
2. 市からの補助金で賄っている
3. 隊員から会費を徴収している
4. 隊員が負担している
5. 企業や個人等からの寄付金で賄っている
6. その他 ()

問8 昨年1年間の活動総額は概ねいくらですか。

活動総額：約 _____ 円

問9 新隊員の募集のために取り組んでいることはありますか。

(○は、いくつでも)

1. 町内会等関係団体に、選出を依頼している
2. 加入してくれそうな方に、直接、声をかけている
3. 回覧板等に、団体の会報等を載せて活動をPRしている
4. 町内会や学校、老人クラブ等に隊員募集のチラシを配布してもらっている
5. 町内会の会合等で団体の活動をPRしている
6. その他 []

問 10 豊川市は「犯罪のない、安全で安心して暮らすことができるまち」だと思いますか。
該当する番号一つに○をつけて下さい。(ひとつだけ)

- | | |
|--------------|-----------|
| 1. そう思う | 2. ややそう思う |
| 3. あまりそう思わない | 4. そう思わない |
| 5. わからない | |

問 11 貴団体の活動地域の治安についてどう感じていますか。(○は、1つ)

- | | | | | |
|-------|-----------|---------|-------|----------|
| 1. 良い | 2. まあまあ良い | 3. やや悪い | 4. 悪い | 5. わからない |
|-------|-----------|---------|-------|----------|

問 12 【問 11】で、1または2と回答された団体】

良くなったと感じる理由をお答えください。(○は、3つ以内)

- | |
|--|
| 1. 近所で、犯罪が発生していないから |
| 2. 近所で、ケンカなどのトラブルや不審者の出没情報がないから |
| 3. 違法駐車や放置自転車がないから |
| 4. 地域の清掃ができていてから |
| 5. 夜中に若者がたむろしていないから |
| 6. 防犯カメラや街灯が多く防犯対策ができていて感じるから |
| 7. 警察によるパトロールを見かけるから |
| 8. ボランティアや連区、町内会等がパトロールなどの地域活動をおこなっているから |
| 9. 特に理由はないが治安はよいと感じている |
| 10. その他() |

問 13 【問 11】で、3または4と回答された団体】

悪くなったと感じる理由をお答えください。(○は、3つ以内)

- | |
|--|
| 1. 近所で、空き巣や車上ねらいなどの犯罪が発生したから |
| 2. 近所で、ケンカなどのトラブルや不審者の出没情報があるから |
| 3. 違法駐車や放置自転車を見かけるから |
| 4. 落書きやごみのポイ捨てが多いから |
| 5. 夜中に公園やコンビニエンスストアなどに若者がたむろしているから |
| 6. 防犯カメラや街灯が少なく防犯対策が不十分と感じるから |
| 7. 警察によるパトロールを見かけないから |
| 8. ボランティアや連区、町内会等によるパトロールなどの地域活動を見かけないから |
| 9. 特に理由はないが治安が悪いと感じている |
| 10. その他() |

問 14 貴団体の活動地域において、犯罪が起こるかもしれないと不安を感じる度合いについて①～⑤それぞれ該当する番号一つに○をつけて下さい。

次の①から⑮すべてについて、 それぞれ1～5の該当する番号に○	1. 不安はない	2. あまり不安ではない	3. やや不安	4. 不安	5. わからない
回答例)「やや不安」である場合	1	2	3	4	5
① 住宅を対象とした侵入盗 (空き巣など)	1	2	3	4	5
② 住宅以外の侵入盗 (事務所荒しなど)	1	2	3	4	5
③ 乗物盗 (自動車盗、バイク盗、自転車盗など)	1	2	3	4	5
④ 自動車関連窃盗 (ナンバーなどの自動車部品、車上荒らしなど)	1	2	3	4	5
⑤ ひったくり、すり、置き引き	1	2	3	4	5
⑥ 殺人、強盗、放火	1	2	3	4	5
⑦ 性犯罪 (不同意性交、不同意わいせつ (痴漢を含む))	1	2	3	4	5
⑧ 誘拐、連れ去り、監禁など	1	2	3	4	5
⑨ 覚せい剤などの薬物犯罪	1	2	3	4	5
⑩ 盗撮、付きまとい行為	1	2	3	4	5
⑪ ストーカー、DV	1	2	3	4	5
⑫ サイバー犯罪 (不正アクセス、コンピュータウイルスなど)	1	2	3	4	5
⑬ 特殊詐欺 (オレオレ詐欺、選付金詐欺、架空請求など)	1	2	3	4	5
⑭ SNS等をきっかけとした犯罪被害	1	2	3	4	5
⑮ 暴力団等の反社会的勢力からの被害	1	2	3	4	5

問 15 貴団体の活動地域において、犯罪が起こるかもしれないと不安を感じる場所はどこですか。(○は、3つ以内)

- | | |
|------------|-----------------|
| 1. 繁華街 | 2. 駅 |
| 3. 路上 | 4. バスや電車などの乗り物 |
| 5. 店舗 | 6. 自宅・マンション |
| 7. エスカレーター | 8. 駐車場・駐輪場 |
| 9. 公園・広場 | 10. 暗がりや人気のない場所 |
| 11. 職場や学校 | 12. その他 |
| 13. 特になし | () |

問 16 地域住民が犯罪被害にあわないためには、どのような防犯対策が必要だと思いますか。(○は、3つ以内)

- | |
|--|
| 1. 自宅玄関への対策(二重錠にする、補助錠を取り付けるなど) |
| 2. 自宅窓への対策(補助錠を取り付ける、防犯ガラスにする、防犯フィルムを貼る、窓用アラームを設置するなど) |
| 3. 防犯砂利を敷く、侵入の足場となるような物を置かないようにする |
| 4. 自宅にホームセキュリティ(民間警備会社との契約)を導入する |
| 5. 自宅外周に防犯カメラを設置する |
| 6. 自宅外周にセンサーライトを設置する |
| 7. 日頃から、家族や近所の人と防犯について話しあい、意識を高める |
| 8. 防犯講習会等に参加し、意識を高める |
| 9. 防犯活動に参加し、意識を高める |
| 10. 自転車盗難防止のためツーロックにする |
| 11. ハンドル固定装置、警報装置など純正プラスアルファの自動車盗対策 |
| 12. 自動で警告・録音する機能などがある、防犯機能付き電話機の設置 |
| 13. 固定電話を留守電設定にして不明な電話番号からの着信に出ない対策 |
| 14. 携帯電話やスマートフォン等で迷惑メールを拒否する設定等の対策 |
| 15. 防犯ブザーの携帯 |
| 16. その他(上記以外の防犯グッズの携帯や防犯対策等) |
| () |
| 17. 特になし |

問 17 犯罪情報や活動に必要な情報は、どのようにして収集していますか。該当する番号すべてに○をつけて下さい。(いくつでも)

1. テレビやラジオ、新聞、インターネットニュースなどのマスメディア
2. 「広報とよかわ」やチランなどの紙媒体
3. 町内会の回覧板(電子回覧板を含む)
4. 会合や口コミでの情報交換
5. 市や警察ホームページ
6. X(旧名称:ツイッター)などのSNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)
7. 愛知県警メール配信「パトネットあいち」
8. 愛知県警アプリ「アイチポリス」
9. その他()
10. 収集していない

問 18 貴団体が活動を継続するうえで、抱えておられる問題点や課題はどういったことですか。(○は、3つ以内)

1. 活動のマナー化による意識低下
2. 隊員の高齢化
3. 隊員の減少
4. 後継者不足
5. 犯罪の多様化による活動の限界
6. 地域住民の理解不足
7. 活動費用の不足
8. 活動参加者の安全確保への不安
9. 活動の目標設定がしにくい
10. 隊員同士の人間関係
11. 集会所などの活動拠点の確保の問題
12. 情報不足
13. 活動に必要な物品の不足
14. その他
15. 特になし ()

問 19 貴団体や他の防犯ボランティア団体が活動を継続していく上で、行政や警察が行うどのような支援が必要だと思いますか。(○は、5つ以内)

1. 犯罪発生情報の提供
2. ボランティア保険の充実
3. 活動に対する財政支援の強化
4. 活動内容の取材、広報
5. 活動参加者を増やすための働きかけ
6. 集会所などの活動拠点の提供
7. 活動参加者の育成・指導
8. 活動者の表彰
9. 活動に必要な物品等の提供や貸与
10. 他団体との交流、連携機会の提供
11. 企業や、個人が行う防犯活動の強化
12. その他()
13. 特になし

問 20 市が街頭に防犯カメラを設置したり、連区、町内会等が市の補助により道路、公園等に防犯カメラを設置したりしていますが、その事をご存じですか。(○は、1 つ)

- | | |
|----------|---------|
| 1. 知っている | 2. 知らない |
|----------|---------|

問 21 市、連区、町内会等が設置している防犯カメラについて、あなたのお考えに近いものを以下の中から最大3つ、該当する番号に○をつけてください。(○は3つまで)

- | | |
|------------------|---------------------|
| 1. 安心感がある | 2. 犯罪抑止効果がある |
| 3. 犯罪検挙に効果がある | 4. 個人のプライバシーを侵害している |
| 5. 画像データの取扱いが不安 | 6. 監視されているようで不安 |
| 7. 設置の効果がない | |
| 8. その他 (_____) | |
| 9. わからない | |

問 22 貴団体の活動地域や豊川市が、犯罪のない安全で安心して暮らすことができる地域であるために、特に必要だと思う取組について、以下の中から最大5つ、該当する番号に○をつけて下さい。(5つまで)

- | |
|--|
| 1. 市・警察の防犯パトロールの強化 |
| 2. 市ホームページによる犯罪情勢・防犯情報等の発信 |
| 3. SNS による犯罪情勢・防犯情報等の発信 |
| 4. テレビやラジオによる犯罪情勢・防犯情報等の発信 |
| 5. 防犯に関する出前講座や防犯セミナー、イベント等の開催 |
| 6. 地域・通学路等の公共空間への街頭防犯カメラの設置促進 |
| 7. 防犯に関する掲示、のぼり旗、横断幕の街頭設置 |
| 8. 地域の中で防犯上危険と思われる個所の点検・改善 |
| 9. 防犯灯など街灯の設置促進 |
| 10. 地域の防犯ボランティア団体、連区、町内会等の防犯活動の強化 |
| 11. 地域の防犯ボランティア団体、連区、町内会等への支援充実（活動費や活動資材の支援、青色回転灯パトロールカー導入支援等） |
| 12. 市民や、事業者が行う『ながら見守り』、『ながら防犯活動』への支援 |
| 13. 自宅に設置する防犯対策機器（防犯カメラ、センサーライト、補助錠等）の購入費の補助 |
| 14. 自動で警告・録音する機能がある防犯機能付き電話機の購入費の補助 |
| 15. 愛知県警メール配信「パトネットあいち」や愛知県警察アプリ「アイチポリス」の普及促進 |
| 16. 市、独自の防犯メールマガジンや防犯情報誌の作成、普及 |
| 17. 防犯グッズ（反射材、防犯ブザー、補助錠等）の配布 |
| 18. IoT や AI 等の新たな技術を活用した安全・安心なまちづくり |
| 19. その他 (_____) |
| 20. 特になし |

問 23 安全で安心して暮らすことができる豊川市の実現に向けて、市や警察に実施してほしいことや、防犯ボランティア活動について、ご意見・ご要望がありましたら、自由にお書きください。

アンケートは以上です。ご協力、ありがとうございました。

3月15日（金）までにご回答ください。

**防犯ボランティア団体に対するアンケート調査
報告書**

令和6年6月

豊川市 市民部 人権生活安全課

〒442-8601

豊川市諏訪1丁目1番地

電話 0533-89-2149

FAX 0533-89-2125

E-mail jinken@city.toyokawa.lg.jp